

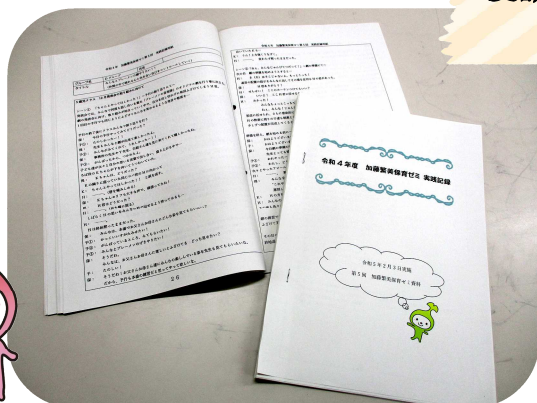
令和4年度 保育士研修 第5回加藤繁美保育ゼミ

テーマ 「保育の実践記録を語り、分析しよう」

R5. 3. 7 和光市 保育センター発行

2月3日に、第5回加藤繁美保育ゼミが開催されました。受講者の皆さんと学び合ったゼミも最終回となりました。今回のゼミでは、受講者の「保育の実践記録」を用いたグループディスカッションと発表を行いました。

受講生の記録をまとめた 「保育の実践記録」



©和光市

グループ毎に、自分で書いた実践発表を読み合わせながら、「NO.1 実践記録」を選び、発表をしました！

発表の場では、選んだ理由や記録者の思い、保育の振り返りなどを加藤先生と共に分析をする貴重な時間となりました。

記録を書いてみることで、
子どもの行動に対して、決
めつけた考えを持っている
ことに気付かされました。

～とりあえず共感！～
意識はしていたけれ
ど、できていないことも
あったなあ。

実践記録の発表を行いました ～グループ発表の様子～



記録には保育士の考えや心、
無意識の保育観が映し出され
ます。

日々の保育で、子どもをどう
受け止めて、どう返したかの
分析を繰り返すことで、日常
の実践も変わっていきます。

～保育士が一番最初にどう返したか～
最初に出した言葉や感情を振り返ってみましょう。
否定的な（大人の視点からやって欲しくないこと）行動
の中に肯定的な部分を見出してみましょう。
子どもがやる行為には、全てに意味があります。意味の
ある世界に共感的に返すことが大切です。

他者の実践記録を聞くことで、自分も
こう書けば良かった、自分も同じよう
な内容を書けたなど感じ、記録だけ
ではなく、日常的に実践する保育の視点
が研ぎ澄まされていきます。

実践記録の分析をして学んだこと ～受講者アンケートより～

今回の研修は、実践記録の発表だったため、それぞれの年齢の‘あるある’な場面を共有しながら皆の意見を聞くことができ勉強になりました。また、今回の研修のために記録してみても、記録したからこそ分かった子どもたちからのサインがあったことに気が付きました。それに気が付いた時、どんな関わりをしたら良かったのか考えることが出来て、記録の大切さを改めて感じました。

(和光エンゼル保育室 荻先生)



実践記録を記入し、分析していただいたことで、保育の中の一場面でもより深い学びや自分たちの保育を振り返れることを実感しました。1 日子どもたちと過ごす保育園では、色々な場面がたくさんある！そこをクラス担任がそれぞれ記入し、分析したら…と考えるとより多くの学びと質の向上につながると感じました。次年度のクラスでは、ぜひ、ここで学んだ記録・分析を行っていきたいと思いました。

(みなみ保育園 税所先生)

1年間の研修を終えた感想 ～受講者アンケートより～

本研修を受けたことがきっかけになり、保育者間で、「あー受け止められなかったー！！」「気持ちに寄りそうにはどう言ったら良かったんだろう??」と休憩時間に語り合えるようになりました。記録して分析する中で、より指針を読みこみ、どういう理由で、この対応をしたのか語る事が少しずつできるようになってきた様に感じます。保育はチームで行うので、園全体で保育を語り合い、分析しあえる環境を少しずつ作っていきたいと思います。

(しらこ保育園 磯部先生)

改めて、各年齢の発達を学べたこと、自分自身の保育方法（関わり方）を見直すきっかけになったことが研修に参加し、変化したと思います。また、グループワークを通じて、他園の先生方の保育について意見交換することも出来たので、良い刺激を受けました。最後の研修で配布された実践記録では、記録方法はもちろん、子どもの行動や発言に対しての個々の受け取り方が様々でとても勉強になりました。（さいたま保育園 佐藤先生）

全5回の保育ゼミをとおして、様々な保育施設の先生方と学び、語り合うことはとても貴重な経験となりました。1年間ありがとうございました！ 保育センター 保育士 寺尾道代

